

書道 I

(担当) 谷脇由紀英

2019年度

大学習目標

- ・小・中学校国語科書字の学習を基礎とし、書道の学習を通して、書と愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して、感性を高め、自己と主体的に表現する能力を伸ばす。
- ・書の美しさを感じるとる基礎的能力を養い、書の伝統・文化について理解を深める。

学期 單元名	学習活動	評価方法
<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書字から書道へ ・用具・用材について ・姿勢と執筆について ・書体の変遷について ・書の古典について ・楷書の古典に学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・書字と書道の共通点と相違点を理解する。 ・文房四宝の種類や性能を学ぶ。 ・姿勢や執筆法の基本を理解する。 ・漢字の成立と仮名の誕生について理解する。 ・書の古典の意義や振本について学ぶ。 ・楷書の特徴と書風の相違を理解する。 ・孔子廟堂碑の臨書 ・九成宮醜泉銘の臨書 ・雁塔聖教序の臨書 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道への関心・意欲 ・態度 ・学習活動への参加状況や態度 ・楷書の基本点画の用筆 ・それ以外の古典を表現できているかどうか、五段階で評価する。
<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書の成立について ・行書の古典に学ぶ ・（書聖・王羲之について） ・漢字書の作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の古典の特徴を理解する。 ・集王聖教序の臨書 ・蘭亭序の臨書 ・風信帖の臨書 ・（行書の古典の臨書学習により、点画や線の質の表し方、運筆法を学ぶ） ・自らの思考や感動でできる詠句を選び、構成を工夫し、作品を制作する。 ・（文化祭に展示する） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況や態度 ・行書の基本用筆を理解し、表現できているかどうか、五段階で評価する（筆致作品）
<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷について ・漢字仮名交りの書について 	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の仮名の古典の表現に学ぶ ・いろは歌、草体と連絡とを理解する ・高野切第三種の臨書 ・蓬来切の臨書 ・短文・詩文を題材に漢字と仮名の調和を工夫する ・※硬筆は随事取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況や態度 ・仮名の基本用筆を表現できているかどうか、総合的に評価する。

学習の目標

- ・表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。
- ・漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感情を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。
- ・様々な場面に対応できる書写活動を養いながら、主体的に自己を表現するための書の能力を高める。

目標を実現するための重要点

- ・文字や言葉素材とした書の表現や鑑賞の活動を中心とし、様々な題材について、自分の構想を基にした書の表現を展開していく。
- ・「漢字仮名交じり書」の学習では、自分の思いや感動を表す語句を選び、漢字や仮名の古典の学習を生かして芸術的な表現を高めるとともに、実用的な表現様式にも活かしていく。
- ・「漢字の書」の学習では、様々な書体や書風にふれることによって書の鑑賞と表現の能力を高め、それぞれの創作に生かしていく。
- ・「仮名の書」の学習では、様々な書風にふれることによって、仮名の書の美や表現方法を学び、表現技術を高め、それらを生かしていく。

（次ページへ続く）

学期	単元名	1	2	3
月	学習活動	4	9	3
	<p>書との出会いを楽しもう 鑑賞へいざない 喪乱帖 石山切</p>	<p>1 漢字の書の世界 ①篆書の古典を学ぼう</p> <p>②隷書の古典を学ぼう</p> <p>③草書の古典を学ぼう</p>	<p>2 仮名の書の世界 ⑥仮名の書の美を知ろう</p> <p>日本人の美意識 連綿、平仮名、変体仮名 近現代の仮名の書 仮名の書の作品製作</p>	<p>3 漢字仮名交じりの書の世界 ⑦思い・ことば・書 漢字仮名交じりの書の作品制作</p> <p>人と書 近現代の漢字仮名交じりの書</p> <p>生活の中の書 書道用語覧 書を収載する日本のおもな美術館・博物館 書の変遷を知ろう</p> <p>中国・日本書道史関係地、参考地図</p>
月	学習活動	<p>・日常生活の中で、積極的に書に関わる姿勢を養う</p> <p>・喪乱帖を鑑賞し、双鋼填墨の技法やその価値について理解を深める。</p> <p>・石山切を鑑賞し、日本人の美意識と仮名の書の美について話し合い、鑑賞力を高める。</p>	<p>11 12</p> <p>・平安時代の古典の変遷を学び、仮名の書の美の特徴を理解する・</p> <p>・臨書や鑑賞の学習により、古筆の様々な用筆、運筆、構成を学び、創意工夫のある表現の技能を身につける。</p> <p>・仮名の学習を通して、日本の伝統文化を理解し、日本人の美意識について考える。</p> <p>・平仮名、変体仮名、連綿の様々な表現技法を学び、自身の作品制作に生かす。</p> <p>・近現代の仮名の書作品を分析的に鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を高める。</p> <p>・自らの思考や感動を表現できる語句を選び、仮名の書の特徴を生かした表現を工夫する。</p> <p>・用具・用材・形式、紙面構成などを工夫し、作品を制作する。</p>	<p>1 2</p> <p>・思いとことばと書の表現の関係について考え、作品を構成する。</p> <p>・自らの思いや感動を表現する語句を選び、作品を構成する。</p> <p>・用具・用材や、作品の形式、紙面構成などを工夫し、作品を制作する。</p> <p>・自己の表現の意図や狙いを構成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。</p> <p>・物作した作品を鑑賞し合い、感じたことを話し合う。</p> <p>・人と書を例に、作品制の動機や表現の構想について理解を深める。</p> <p>・近現代の漢字仮名交じりの書作品を分析的に鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を高める。</p> <p>・日常生活における書の効用について考え、生活の中へ積極的書を取り入れるようにする。</p> <p>・書道用具について理解する。</p> <p>・日本の美術館・博物館について知る・</p> <p>・日本と中国の書の変について理解する。</p> <p>・中国と日本の書道の関係地について理解する・</p>
	評価方法	<p>学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度</p>	<p>学習成果（作品制作） 学習のまとめ 鑑賞カード、レポート</p> <p>作品構成カード 学習成果（作品制作） 学習のまとめ</p> <p>学習活動への参加状況や態度 試書等の記録ファイル 学習の記録 鑑賞カード、レポート</p>	<p>学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度</p>